

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	医療安全	分野/教育内容	専門分野/看護の統合と実践	
開講年次 時期	2年 前期～後期 令和5年6月23日	単位数/時間	1単位/30時間	
担当講師名	佐々木 めぐみ 先生	所属・役職	宮古病院 医療安全管理室 医療安全管理専門員	
		資格・免許	看護師	
	畠山 千章	所属・役職	宮古高等看護学院 専任教員	
		資格・免許	看護師	
授業の概要	医療安全の基礎的知識を習得し、医療現場での安全対策の実践を理解する			
到達目標	1. 人間の特性を踏まえ、医療事故とヒューマンエラーの原因・対策を理解する 2. 過去の事例を通して看護業務を行う上での種々の危険因子を理解する 3. 2をもとに事故予防策が考えることができる			
事前学習 内容	事前に教科書を読んでおく			
成績評価の 方法	筆記試験①（50点）・・・佐々木先生 筆記試験②（40点）、レポート評価（10点）・・・畠山			
使用教科書 参考文献	看護の統合と実践② 医療安全（メディカ出版、第4版第1刷、2021） 参考）医療安全ワークブック（医学書院、第4版第4刷、2022） 参考）ヒヤリハットに学ぶ看護技術（医学書院、第1版第1刷、2021）			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		講師	授業形態
1	医療安全と看護の理念（P.12～）		佐々木	講義
2	医療安全への取り組みと医療の質の評価（P.34～）			
3	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント（P.74～）			
4	看護業務に関連する事故と安全対策1（P.126～155）			
5	看護業務に関連する事故と安全対策2（P.155～174）			
6	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策（P.200～）			
7	KYT（グループワーク）			演習
8	筆記試験①			
9	臨地実習における安全管理① 安全な実習のための心得（P.226～） コミュニケーションの重要性		畠山	講義
10	臨地実習における安全管理② 学生のインシデント事例の分析			講義
11	在宅看護における医療事故と安全対策（P.178～）			講義
12	コミュニケーション・情報管理の事故防止（グループワーク）			演習
13	療養上の世話の事故防止（グループワーク）			
14	診療の補助の事故防止（グループワーク）			
15	臨地実習で経験したヒヤリハット事例の共有と分析			
16	筆記試験②			
履修上の 留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず読んでから授業に臨むこと 2. 授業で行われる事例内容や関連する看護技術の基礎的知識について意欲的に学習すること 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動すること 4. グループワークは、ブレインストーミングにより行う			